

1 単元名 「日本のことをしょうかいしよう。」(Junior Sunshine 6 Lesson 4)

2 単元の目標

- ・食べ物・観光名所・行事・自然などの言い方や、日本のことを紹介する言い方を理解することができる。 【知識及び技能】
- ・食べ物・観光名所・行事・自然などの言い方や、日本のことを紹介する言い方を理解し、自分の考えや気持ちを入れながら日本のことを紹介することができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- ・ALTや友達に日本のことが伝わるように、進んで日本のことを紹介しようとする。 【学びに向かう力・人間力等】

3 単元について

本単元は、学習指導要領外国語第2 英語の目標(4)話すこと[発表]ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」に重点を置いて活動を行う。

児童はこれまで、**Junior Sunshine 6 Lesson3**「ツアープランナーになろう。」において外国の文化や食べ物、自然などを紹介する言い方を理解するとともに、伝え合う知識・技能を身に付けている。どの児童も自分がおすすめしたい国を選び、その国の文化や食べ物などについて紹介することができた。また、**Lesson 7**「世界の衣食住を知ろう。」の学習を本単元の前に行うことで、世界の食べ物や民族衣装などの文化について理解を深めるとともに、日本のよさについて改めて考えたり、見つめ直したりすることができた。さらに、世界の食べ物や民族衣装を紹介する映像を見たり、聞いたりする活動を通して、それぞれの国について紹介する表現に慣れ親しむことができた。そこで、今までに学習した表現を活用して、友達とのやり取りや発表を楽しめるようにするために、**Lesson 3**「ツアープランナーになろう。」や**Lesson 7**「世界の衣食住を知ろう。」で学んだ表現を教科書やワークシートを用いて想起させる。

本単元では、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組み、やり取りや発表を楽しめるようにするために、「日本の食べ物や観光名所、行事、自然などを ALT におすすめする」といった場面設定を行い、児童に「ALT に伝える」という目的意識をもたせることとした。また、本単元では、ALT は本時に初めて発表の聴き手として参加する。本時の発表に向けて、「ALT にしっかり伝えたい」や「伝えるためにしっかり学習していこう」という意欲や気持ちを高めながら指導にあたりたい。

本時では、ALT に日本のことを紹介する活動を行う。児童一人一人が「ALT に伝える」ことを意識して発表できるように、グループごとに前へ出て、ALT に向かって発表できるような場を設定する。また、聞いている児童が友達の発表にリアクションできるような工夫をすることで、発表する児童が安心した雰囲気の中で紹介できるようにする。発表を終えたときに、「ALT に伝えられた」という達成感や、「自分が学習してきた英語が伝わった」という喜びを感じられるようにしたい。さらに、達成感や喜びをもつことで、今後も主体的に英語を学んでいこうとする態度を育てたい。

4 児童の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識></p> <p>○食べ物・観光名所・行事・自然などを表す語や、We have ～. You can ～. It's ～.の表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>○日本のことについて、食べ物・観光名所・行事・自然などを表す語や、We have ～. You can ～. It's ～.の表現を用いて、紹介したい日本のよさを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>○ALT や友達に日本を紹介するために、日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら日本のよさを紹介している。</p>	<p>○ALT や友達に日本の紹介が伝わるように、進んで日本のことを紹介しようとしている。</p>

6 指導と評価の計画(7/7)

時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○食べ物や自然、行事、観光名所などを表す英語を言ったり聞いたりする。 ○単元の見通しをもつ。	・日本のことを紹介する表現について理解している。		
2	○日本でできることを紹介する表現を聞いたり言ったりする。	・日本のことを紹介する表現について理解している。		
3	○日本のことを紹介する表現を聞いたり言ったりする。 ○日本でできることを紹介する表現を使って、友達と伝え合う。	・日本のことを紹介する表現について理解している。		
4	○日本でできることを紹介する表現や日本のことを紹介する表現を使って、日本のことを友達と伝え合う。		・日本のことについて友達と伝え合っている。 (話す[やり取り])	・食べ物や自然、行事、観光名所などのことをALT や友達に伝える活動に主体的に取り組もうとしている。
5	○グループで、日本のことを紹介する表現を考えたり、紹介ポスターを作ったりする。		・学習した表現を用いて、日本のことを紹介する表現を考えている。	
6	○グループで、日本のことを紹介する表現を考えたり、紹介ポスターを作ったりする。 ○グループで発表の練習をする。			

7 (本時)	○ALT の先生や友達に日本のことを紹介する発表会を行う。 ○単元の振り返りをする。		・学習した表現を用いて、日本のことを紹介している。 (話す[発表])	・ALT や友達に日本のことが伝わるように、進んで日本のことを紹介しようとしている。
-----------	---	--	---------------------------------------	--

7 本単元で扱う語彙・表現

表現 We have - in ~. You can see[eat/enjoy...] ~. It's ~.

語彙 【食べ物】 sashimi , tempura, udon, soba, Japanese sweets など

【観光名所】 temple , castle, shrine, park など

【行事】 festival , hanami, fireworks など

【自然】 island , mountain, hot spring, beach など

8 本時の指導

(1)本時の目標

○食べ物・観光名所・行事・自然などの言い方や、日本のことを紹介する言い方を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら、日本のことを紹介することができる。 【思考力・判断力・表現力等】

○ALT や友達に日本のことが伝わるように、進んで日本のことを紹介しようとする。

【学びに向かう力・人間力等】

(2)本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 (1)	1 はじめの挨拶をする。 T : Hello, everyone. How are you? S : I'm fine/hungry/sleepy.	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶を交わすことで、楽しく明るい雰囲気を作る。
復習 (8)	2 神経衰弱ゲーム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①カードを1枚めくる。 ②そのカードが表す日本のよいところを紹介する表現を発音する。 ③もう1枚カードをめくる。 ④同じように、よいところを紹介する表現を発音する。 ⑤カードがそろっていたら、ゲットする。 </div> (例) 富士山のカード <ul style="list-style-type: none"> ・ We have Mt.Fuji in Japan. ・ You can enjoy climbing. 3 本時のめあての確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3時で扱ったカードを使うことで、抵抗感なくアクティビティに取り組めるようにする。 ・神経衰弱ゲームを通して、単語や紹介する表現を繰り返し発音することで、発表に生かせるようにする。 ・単語や表現を示したピクチャーカードを掲示することで、発音をする際のヒントになるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">日本のよいところをALT の先生や友達におすすめしよう。</div>		

<p>導入 (10)</p>	<p>4 ALT の発表を見る。 ・ALT の発表を見て、よいところや自分たちの発表に生かせそうなところを見つける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・相手の目を見て、笑顔で発表していた。 ・みんなに聞こえるような、はきはきした声で発表していた。</p> </div> <p>5 発表の練習をする。 ・友達と発表の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の発表をあらかじめ見ることで、自分たちの発表のイメージが湧くようにする。 ・よいところや自分たちの発表に生かせそうなところを全体で共有することで、そのポイントを踏まえて練習できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-right: 20px;">・ Eye contact ・ Clear voice ・ Smile </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の発表で確認したポイントを意識して練習するように声をかける。 ・わからない単語や表現があった場合には、グループで教え合ったり、掲示物などを参考にしたりするように声をかける。 ・困っている児童やグループには、個別に発音や発表の仕方を伝える。
<p>展開 (20)</p>	<p>6 ALT や友達に向けて日本のことを紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>S(全) : Welcome to Japan. S 1 : We have Japanese foods in Japan. : You can eat <i>sushi</i>. : It's delicious. S 2 : We have Mt.Fuji in Japan. : You can enjoy climbing. : It's exciting. S 3 : We have <i>hanami</i> in Japan. : You can see cherry blossoms. : It's beautiful. S(全): Please enjoy Japan. Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の順番はあらかじめ決めておく。 ・書いたポスターが聴き手に見えるように発表するように声をかける。 ・発表するときのポイントを意識して発表するように声をかける。 ・リアクションについてまとめたワークシートを参考に、リアクションをしながら発表を聞けるようにする。 ・発表のポイントを意識して発表できている児童やペアを称賛し、全体でポイントを共有する。 <p>◎食べ物・観光名所・行事・自然などの言い方や、日本のことを紹介する言い方を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら、日本のことを紹介している。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>◎ALT や友達に日本のことが伝わるように、進んで日本のことを紹介しようとしている。 【学びに向かう力、人間力等】</p>

	<p>7 発表の活動を振り返る。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の先生に日本のよさを紹介することができた。 ・聞いている人の目を見て発表することを意識して取り組むことができた。 ・自分が発表したことが伝わってよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT に伝えようとしていた姿勢や発表の様子を褒め、英語を用いて考えを伝えたり、発表したりすることに自信をもてるようにする。 ・学習した内容を使って、ALT に日本のことを伝えられたことを確認し、英語を用いて気持ちや考えを伝えようという意欲を高められるようにする。
	<p>8 ALT に感想を言ってもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT から感想をもらうことで、発表を頑張った達成感や、英語が伝わった喜びを感じられるようにする。
<p>振り返り (5)</p>	<p>9 本時の活動を振り返る。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のよさが先生に伝わって嬉しかった。 ・学習した内容を使って、日本のことを紹介することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことや頑張ったことなどを振り返り、達成感をもてるようにする。 ・振り返りを発表する場を設け、頑張ったことやできたことを互いに認め合えるようにする。
<p>挨拶 (1)</p>	<p>10 終わりの挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気での学習が終わることができるようにする。